

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
4 -	商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する	産業振興部、都市整備部

所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	実績値					5年度目標値
		改訂計画策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
魅力化実施店舗数（累計）	店舗	46	59	65	70	77	82
平塚駅周辺地区（明石町、紅谷町）の空き店舗の減少数（累計）	件	0	3	6	12	15	3

関連事業

商店等魅力アップ推進事業 商店街にぎわい創出事業 中心市街地活性化推進事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	1,804,761	5,209,090	664,310	29,184
執行率（％）	79.34	99.20	92.26	89.67

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・平塚まちなか活性化隊や商店街団体などによる活動を支援するとともに、中心市街地の空き店舗を活用して出店する事業者に対する店舗賃借料や店舗改装費の補助を拡充することで、中心市街地のにぎわい創出や商店街の活性化を促進しました。
- ・事業者のECサイト構築支援や専門知識を有するアドバイザーの派遣などにより、販売力や経営力の強化を図りました。また、地域住民を対象に匠の店の技や技術の体験教室を、公民館と共催して開催するとともに、リーフレットの配布等により、匠の店の認知度向上を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・集客や購買につながる商店街団体などの活動を促進するとともに、中心市街地においては、空き店舗対策に取り組むほか、魅力ある商店街づくりを促進する必要があります。
商店街団体が行う販売促進事業などに対し、事業費補助などの支援や空き店舗の活用などに係る補助を行うとともに、商業者など地域が主体となったまちづくりの取組を支援します。
- ・地域外の消費者からも選ばれる個店づくりや大型商業施設の出店などに対応した個店の取組を推進する必要があります。
アドバイザーの派遣などを通し、個店の専門性を活かした取組や販路拡大を支援し、大型商業施設との差別化や経営力の強化を図ります。
- ・魅力やにぎわいのある中心市街地の実現に向け、活性化施策の展開が必要となります。

中心市街地活性化施策の主体である商業者らに対し、人材発掘・育成、まちづくりに関する取組などの支援を行います。